

【市長問責決議案について】

記者

答弁拒否をした理由は何だったのですか。

市長

何と言いますか、議会側のルールというものが私の頭にもありましたので、それが議会の中での申し合わせだというご意見であったわけですが、それが頭の中にあっただのが1番の理由です。

記者

直前の大村議員と、大村議員の前の藤野議員も所属する常任委員会についての質問をなされて市長が答弁されていたと思いますが、なぜ上地さんだけ拒否をしたのかその理由を教えてくださいたいのですが。

市長

正確に申し上げますと、答弁そのものを拒否したという考え方はあまり持っていません。ただ、ご指摘いただいたように議会内のルールというものが頭にこびりついていましたので、それにそのルールに乗っ取った形での答弁というのをほかのお二人も含めてしてしまっていたというところです。

記者

いや、ほかの2人には答弁されていると思うのですが。

市長

正直なお話を申し上げますと、本議会では常任委員会の質問は遠慮するというルールがありまして、そのルールがこびりついていたので、私の中での勝手な配慮ではあったわけですが、お二人についても直接の答弁にならないようにしてしまったところがあると思っております、この点についても併せて反省しています。

記者

上地議員は所属常任委員会に関わる谷戸公社の質問をしましたよね。大村議員も総務常任委員会に関わることを質問しましたよね。藤野議員も教育福祉常任委員会に関わる質問をしましたよね。3人ともいずれも所属常任委員会に対する質問をしていて、藤野議員には答え、大村議員には答え、上地議員には答えなかったその理由を教えてくださいませんか。

市長

繰り返しになりますが、上地議員にも議会の答弁の中で1問目に答弁をしていることはご承知だと思います。上地議員の問責決議案の提案理由の説明の中にもありましたが、配慮しているというような言葉があったがあれこそいかなものかというご発言がありました。その配慮の意味内容の私としての受け止め方は、ほかの2議員に対しても直接的な答弁でなかったということについて反省をすべきだというようなご意見としても実は受け止めています。ですから、2問目以降のやりとりの中で、上地議員があまりにも直接的なご質問をされたので結果的にあのようなやりとりになってしまったわけですが、いずれにしても私としてはそういった配慮も含めてしてはいけなかったことだと反省しています。

記者

大村議員と藤野議員には直接的な答弁をしていると思うのですが。

市長

それは受け止め方だと思います。上地議員が提案理由の説明の中で指摘されたことというのは、私としては重く受け止めたと思っています。

記者

では、大村議員と藤野議員には直接的な答弁をしなかったのですか。

市長

ですので、質問にできる範囲で答弁をしましたが、私の中で議会内のルールというのが頭のどこかにこびりついていた答弁にはなっていたのではないかとと思っています。

記者

いや、明らかに藤野議員と大村議員には答えたのに、上地議員に対してはきつい表現だと無視をするような感じでした。その違いを知りたいです。

市長

本当にそれは受け止め方だと思います。私は上地議員にも1問目では答弁をさせていただいたとは思っていますが、いずれにしても、2問目以降のやりとりの中でそういった議会のルールというものを頭にこびりつかせてしまった配慮をして、指摘を受けたと受け止めています。

記者

認識の違いと言うと、ちょっと一般的な認識の違いだとされ方が違うと思うのですが。かなり差があったと思うのですが。

市長

それは質問の内容にもよるのではないですか。受け止め方の1つだと思います。

記者

先ほどおっしゃいましたけど、ほかの議員の場合も配慮しているという言葉の意味がちょっと私には分からなかったのですが、その意味を教えてくださいませんか。

市長

その意味は今このやりとりの中で少しご説明したつもりですが、今回の議会の中で常任委員会に絡む質問をされているのではないかと伺える質問に関しては、少し配慮してしまったということです。

記者

配慮するということは、答えないということですか。

市長

ですので、いただいた質問ですから答えないということではできないと思っていましたけれども、答弁の中で所属委員会に重ならないところについて特に答弁をしたと受け止めていただきたいと思っています。

記者

それでは、上地議員が議事録をすべて調べるとほかの議員にはすべて答えているというように受け、こういう明らかな嘘をつく体質こそが問題だというようなご指摘をしているのですが、この上地議員の認識は間違っているということですか。

市長

いや、認識が間違っているかどうかということではなくて、上地議員のご指摘の中で特に最後提案理由のご説明の中であったのは、ほかの議員への配慮もしているという発言こそおかしいというお話だったと思います。私はそういったご指摘は真摯に受け止めて、今後そういったことがないようにしていきたいと思っています。

記者

では、上地議員の指摘どおりということでもいいですか。

市長

上地議員があそこで提案理由を説明で申し上げたことは、しっかりと受け止めたいと思っています。

記者

それが事実であるという。上地議員の指摘どおりで間違いはないですか。

市長

上地議員の指摘にまったく私はそのとおりだと思っていますので、今回は反省しています。